

# I. アグリビジネス学科の農学系実習・実験科目における 2020年度の遠隔授業の概要

秋田県立大学生物資源科学部アグリビジネス学科は、農学系の学科であり、農業技術実習（2年次）やプロジェクト実習、プロジェクト演習・実験（3年次）といった「農場等のフィールドでの実習や実験」がカリキュラムの中で大きなウエイトを占めている。アグリビジネス学科の実習・実験科目配置と、2020年度の授業実施状況を表1に示した。

表1 アグリビジネス学科<sup>\*1</sup>の実習・実験科目配置と2020年度の授業実施状況<sup>\*2</sup>（すべて必修科目）。

学期	科目	通常年度の実施概要	2020年度実施状況
1年次 前期	農業基礎演習	・夏期集中（6日間） ・受講者：アグリ約40人（必修） +他学科約40人（人数制限あり）	・すべて対面 ・受講者：アグリ学生43人のみに限定
1年次 後期	化学・生物学実験Ⅰ (通称：化学実験)	・週1回（全15回） ・受講者：アグリ学生約40人	・対面が基本だが、冬休み後に遠隔2回
2年次 前期	農業技術実習Ⅰ	・週1回（全15回） ・受講者：アグリ学生約40人	・1～5週はすべて遠隔 ・6～15週は対面6回、遠隔4回
	化学・生物学実験Ⅱ (通称：生物実験)	・週1回（全15回） ・受講者：アグリ学生約40人	・すべて遠隔
2年次 後期	農業技術実習Ⅱ	・週1回（全15回） ・受講者：アグリ学生約40人	・対面が基本だが、冬休み後に遠隔2回
2年次末に6つあるプロジェクトのいずれかに所属 <sup>*3</sup> (プロジェクトは一般的な学科の研究室に相当する)			
3年次 前期	プロジェクト 実習Ⅰ	・週1回（全15回）：各プロで開講 ・受講者：各プロ所属学生	・1～6週はすべて遠隔 ・6～15週は対面と遠隔（対面と遠隔の実 施回数の割合は各プロで異なる）
	プロジェクト 演習・実験Ⅰ	・週1回（全15回）：約10回は各プロ で開講、約5回は学科共通として開講 ・受講者：各プロで開講の約10回 は各プロ所属学生	・1～6週はすべて遠隔 ・6～15週は対面と遠隔（対面と遠隔の実 施回数の割合は各プロで異なる）
3年次 後期	プロジェクト 実習Ⅱ	(プロジェクト実習Ⅰと同じ)	・対面が基本
	プロジェクト 演習・実験Ⅱ	(プロジェクト演習・実験Ⅰと同じ)	・対面が基本

\*1 表中では「アグリビジネス学科」を「アグリ」と略記した。

\*2 2020年度前期は、「全科目を遠隔で実施」の方針で始まったが、途中（5週頃）から「実習等は遠隔と対面の実施回数が半々程度ならば可」に改まった。後期は、「原則対面だが、冬休み明けの1/6～1/15は遠隔」の方針となった。

\*3 6つあるプロジェクトのうち、経営経済系2つを除いた4つでは、表中の3年次開講科目が農学系の実習・実験に該当する。なお、3年次の実施概要では「プロジェクト」を「プロ」と略記した。